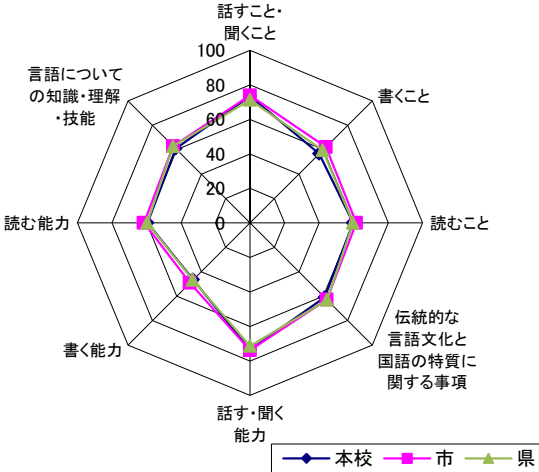


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	73.5	73.8	71.3
	書くこと	56.6	62.2	59.6
	読むこと	59.6	61.5	59.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.1	62.9	63.1
観点	話す・聞く能力	73.5	73.8	71.3
	書く能力	46.6	49.2	46.8
	読む能力	59.4	61.5	59.6
	言語についての知識・理解・技能	60.9	62.9	62.9



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの内容の聞き取りでは、本校の正答率は県の平均を2.2ポイント上回っている。	・今後も聞き取りテストを継続して行い、話の要旨をしっかり把握できるように指導していきたい。また、普段の授業中でも自分の意見を整理して発言することや相手が伝えたいことをきちんと理解できるようにしていきたい。
書くこと	●書くことについての正答率は、県の平均を3.0ポイント下回っている。記述問題や作文力の正答率が低い。	・様々な表現技法や文章表現力などの基礎的な学力を身に付けさせた上で、文章読解に対する全体的な理解力を高めていく必要がある。与えられた課題について、どのように自分の考えをまとめて書いていけばよいかなど、授業や作文指導等の中で継続的に教えていくことを大切にしたい。
読むこと	○読むことについての正答率は、県の平均正答率と同じである。	・説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取ることができるように指導していきたい。また、文学的文章の内容理解については、登場人物の心情を的確に読み取りながら、その作品が伝えたいことを把握できるようにしていきたい。そのためには、多くの文学作品に触れさせ、様々な考え方やものの捉え方があることに気づかせていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●言語についての知識、理解、技能については、県の平均正答率を2.0ポイント下回っている。漢字の読み書きについては、読みが県の平均を上回っているのに対し、書きについては、6.2ポイントも下回っている。	・漢字の読み書きに関しては、単元末に行っている漢字テストを継続して行い、基礎的な力を養うことが不可欠である。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てていきたい。文法問題に関しては、単語や文節、品詞の区別など基本的な理解が不十分である。これからも継続的な学習、指導をしていきたい。